2024 年 6 月 13 日

学校法人三幸学園
札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校
校長　武田　政司　殿

学校関係者評価委員会
委員長　中村　宗人

学校関係者評価委員会実施報告

2023 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

１　学校関係者評価委員
① 中村　宗人　（マスダプランニング株式会社　経営企画室マネージャー）
② 松田　桃花　（第１０期卒業生）
③ 川原　祥吾　（株式会社共立メンテナンス寮事業本部　札幌支店　）

２　学校関係者評価委員会の開催状況
2024 年 5 月 29 日（会場　札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校　201）

３　学校関係者委員会報告
以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023 年度　学校法人　三幸学園　札幌ブライダル＆ホテル専門学校
自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者　：　副校長　熊木　絢子
学校関係者評価報告責任者　：　学校関係者評価委員会委員長　中村　宗人

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできる No. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」、観光分野として「日本の魅力を伝えられ、語学力を有し、主体的に考え『おもてなしの心』と『人を楽しませる力』を持った人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

2023 年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

・退学者数減少
・卒業生満足度の向上
・就職決定率の向上

② それぞれの項目を前年比にすると、退学率 4.3%増加(8.7%)、卒業生満足度は 0.13 増加(3.7)、授業アンケートこの授業は将来役に立つと実感できる、この授業は全体的に満足できる 0.1%増加(3.78)就職決定率は 0.2%増加(98%)。

③ 2024 年度は退学者を 5.7%以内に抑えることを目標に、就職決定率 100%向上に向けて、生徒の状況をいち早く察知し、担任と講師陣と情報共有し卒業生満足度を高められるように目指していく。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

･特になし

② 今後の改善方策

･特になし

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

･特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫･開発などが実施されているか	4
関連分野の企業･関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成･見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技･実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①　課題

･特になし

②　今後の改善方策

･特になし

③　特記事項

･全教員に対し、多様性と学生への対応について、航空業界についての研修実施。

④　学校関係者評価委員会コメント

Q.昨年度、教員の指導力育成を目的に LGBTQ 研修実施。多様性を認めようという時代の流れの中で、実際に企業様ではどんなことに取り組んでいるのかを伺い、参考となるものを取り入れていきたい。

･寮での男子･女子寮での LGBTQ 対応が少しずつ増えている傾向がある。現段階では戸籍上の性別で対応し、今後の予定としては「男女共用フロア」も検討しているが、中々進んでいない部分もある。（川原委員ウェディングプランナー科･ホテルエアトラベル科について）

・一人ひとりが違うので、多様性と一括りにすることは難しい。ケースバイケース。受け入れる側の変化への対応が大事で、今の生徒や卒業生の方が柔軟な考えを持っているため、企業が理解をする事を求めた方がいいと考えている。（中村委員、ウェディングプランナー科、ブライダルヘアメイク＆ドレス科について）
・多様性に対して、動いている企業様はあまりないと感じている。生徒や卒業生の方が理解していることが多い。（松田委員、ウェディングプランナー科、ホテルエアトラベル科について）

Q.多様性を認めようとする中で、新入社員に求める力はどんなものがあるのか。
・世間的にはそうだけど、世の中はそうではない。サービスを提供していく社会人として、組織の一員としては合わせる必要はある。ルール内でやるべきことの方が多いので、現実を伝えるのは学校としての役割でもある。（中村委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク＆ドレス科について）

Q.多様性に限らず、社員に向けてのスキルアップ研修を伺い、参考となるものを取り入れていきたい。
・トレンドセミナー（ヘア、衣装※ブライダル以外のファッションや東京で活躍しているヘアメイクさん）、またお客様のニーズがどんどん変化しているため、ハラスメント研修を実施している（中村委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク＆ドレス科について）
・ホテル業務は全てが繋がっているので、様々な部署にまわって業務をやってみる。一つの仕事だけに従事すると視野が狭くなってしまうので、視野を広げるような研修。ハラスメント研修。（松田委員ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）
・寮長寮母さんへのハラスメント研修。SNS 発信研修（インスタグラマー、キャンバ使い方、DX 関係）（川原委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク＆ドレス科・ホテルエアトラベル科について）

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・退学者の増加。

② 今後の改善方策

・2024 年度は時期別に生徒の気持ちの変化が起こりうることを想定し、退学防止策スケジュールを各学科で作成することで、先手を打って生徒指導対応をしていく。アンケートを活用しクラス全体や個人の特性を把握し対策していくようにする。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・退職のでる時期 5～6 月、10 月に増える傾向。退職者が出ないように取り組んでいることとして、メンタルヘルスコールセンターの告知増加。(匿名でお話できる、24 時間いつでも電話できる)(川原委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について)

・退学や退職の選択肢が許される時代なので、採用や入学の際に、企業や学校が細かく選定していく必要もある。受け入れる側だけの頑張りでは限界があると感じる。(中村委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

・退職の相談があった際、異動を経験してもらい、年代が近いスタッフが教えるなど、様々な要因に対して働きやすい環境を一緒に探っている。(松田委員ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について)

・相談しやすい環境で教えている。メンタルが弱い傾向にある方、ストレス発散方法がない場合は採用しない。最終的には自分で乗り越えてもらう。指摘に対しての受け取り方の指導はある。(中村委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

・採用した専門学生と大学生の違いや特徴として、専門学生はサービスなどの知識に加えて、挨拶・行動力・メモを取ることができる印象。大学生は採用時に立ち振る舞いや敬語に課題感を感じるが、臨機応変に対応できる印象である。(松田委員ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について)

・専門学生、大卒生の違いはない。専門学生が素晴らしいのは「挨拶、元気、笑顔」がしっかりしており、教え込まれていると感じる。将来のイメージや夢、目標を具体的に持っているのが専門学生。ブライダルヘアメイク&ドレス科はその傾向が強い。こうなりたい意欲が高いと感じる。大卒生の強みは想定外の対応力。初期対応に間違いが少ない。(中村委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

・明確な目標、ビジョンを持っている専門学生が多く、離職する人が少ない印象。何か大変なことがあっても乗り越えられる傾向。ただ、大きく区別することは考えていない。(川原委員ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について)

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路･就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校･高等専修学校等との連携によるキャリア教育･職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

･卒業生･中途退学者への支援体制が不足している。

② 今後の改善方策

･同窓会LINKを活用して情報の発信及び相互交流における支援体制の構築目指す。

③ 特記事項

･特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

･特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設･設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災･安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

･実習設備をより現場の状況に近くしていく。（チャペル、メイク、ドレス、観光）

② 今後の改善方策

･2024 年度は校舎の改装を実施し、より現場に近い環境で授業ができるようにする。

③ 特記事項

･特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

･特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①　課題

・特になし

②　今後の改善方策

・特になし

③　特記事項

・特になし

⑤　学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算･収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算･収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①　課題

・特になし

②　今後の改善方策

・特になし

③　特記事項

・特になし

④　学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

・地域に対する公開講座は未実施。

② 今後の改善方策

・地域連携を強化できるような活動を検討していく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

（11）国際交流（必要に応じて）

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	4

①　課題

・学習成果への評価体制が整っていない環境であった。

② 今後の改善方策

・留学生の学習効果を評価していただける環境作りに取り組む。

③　特記事項

・特になし

④　学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2023年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

・退学者数の減少

・卒業生満足度の向上

・就職決定率の向上

取り組みとして、2022年度より良い結果に繋げることができたのは卒業生満足度、就職決定率は増加できたが、まだ改善の余地が十分にあると考える。退学者数の増加が一番の課題と考え、2024 年度は新たな試みを実施し、継続して課題の改善に取り組んでいく。